

令和４年度実績に係る外部評価 意見概要
令和５年８月２８日（月）

① 特定保健指導事業

- ・ＩＣＴの利用や、薬局への業務委託を積極的に進めることが必要だと思う。利用率を上げていくためにも、今までやっていなかったことに取り組んでいただきたい。
- ・ＩＣＴによる遠隔での指導方法として、スマートフォンのアプリを活用するのは良いことだと思う。
- ・アプリを使う上での注意点として、外部の業者に委託すると、固定的な負担になってしまう。単にＺｏｏｍを使えば済むものを、わざわざアプリにして使用料や委託料を払い、利用者側にもアプリのダウンロードを求めるといった形が本当に良いのかについては考える必要がある。リモートのソフトウェアは既に多くの方に普及しているので、それを活用する形での指導を考えていただきたい。令和５年度は令和４年決算に比べて予算額がかなり増えており、この状態が今後も続くのはあまり良いことではない。
- ・特定保健指導は無料で受けられるので、費用の面でメリットがある。個別の指導を嫌がるケースもあると思うが、その点は自信を持って提案しても良いと思う。
- ・行政機関でお互いに成功事例などの情報交換を行える場があれば、ぜひ積極的に参加して情報を集めていただきたい。利用率を上げることは健康増進になり、それが医療費の削減にも繋がり、回り回って行政改革になる。

② 畜産環境フレッシュ事業

- ・令和５年度以降の方向性は拡大となっているが、成果指標の令和４年度目標が２０件だったのに対して、令和５年度目標は１３件である。現在、肥料価格高騰対策として畜産の肥料を撒いてほしいという取り組みを進めていることを考えると、臭気の苦情はもっと増えていくと思われる。拡大というのであれば、もっと目標値を高くし、周知を徹底して実際に広げていかないといけないのではないかと。市長も旭は観光でと言っており、その辺りが全然伴っていない。
- ・臭気は以前に比べるとかなり改善していると思うし、クレーム件数もだいぶ改善していると思う。本市の畜産業は全国トップクラスの歳出額であり、これを継続して成長させていくにあたり、臭気も改善されてくると両方幸せなのではないか。ぜひ課としてもそういう努力をして、もしクレームがあれば率先して対応策を考えていただくことで支援していただけるとありがたい。
- ・規模にもよるが、最近建てられた施設については最初から臭気対策が出来ていると思うので、昔からの人たちで、臭気対策になかなか手を出せない生産者の方々にぜひこの事業を広めていただきたい。
- ・成果指標には苦情件数が必要だと思う。事業の目的の中でも市民の住みやすさを挙げているので、苦情件数は減らせないといけないと思うし、それが出来ているかどうかを成果指標として考える必要があるのではないかと。
- ・畜産業者の方に臭気対策をしてもらうモチベーションを与える方法として、報奨制

度を補助制度と併用してみてもどうか。臭気測定器で検査をして、対策が出来ているところには予算の一部を報奨金の形で配分して、その上で補助もしていくというやり方も考えられるのではないかと。申請を待っているだけではなかなか進まないと思うし、やる必要があると説明しているだけでもうまくいかないと思う。

- ・補助金を出して畜産農家に臭気測定器を所有してもらい、定期的に測ってもらうことも大事だと思う。
- ・臭気の測定結果を表示してしまっても良いのではないかと。
- ・市内にいと臭いに慣れてしまうが、市外から来た方にはわかるもので、臭いがあるから旭市には家を建てないという方もいる。難しい問題だが、今後も知恵を絞って頑張っていたきたい。

③ シルバー人材センター助成事業

- ・以前はシルバー人材センターに仕事を頼んでいたが、依頼したい仕事に対応出来る人がいないと断られ、利用しなくなってしまった。契約件数を伸ばすには、技術を身につけるための指導も必要ではないかと。
- ・働いている人の中には、自分の年金のプラスになればという考えで仕事をしている人もいると思うので、そういった部分を前面に出せば、もっと会員は増えるように思う。
- ・事業の目的と評価の間にずれがあると思う。生きがいづくりという福祉を目的とした事業であるにもかかわらず、成果指標は契約件数となっており、収益事業的な評価をしてしまっている。この事業は、会員が生きがいを感じているかどうかで評価しなければならず、入会したいという方が増えること、入会している方が満足していることが重要だと思う。また、会員が何か新しいことができるようになることも重要であり、収益に結び付けるための研修というよりも、生きがいづくりの場とするための研修が必要ではないかと。
- ・シルバー人材センターが生きがいづくりと社会参画のための重要な役割を担う機関であると認識しているとのことだが、事務事業評価シートには、令和4年度の活動として補助金の交付しか記載されていない。担当課として、今何をすべきなのかということを真剣に考えていただきたい。
- ・人材の確保については、シルバー人材センターのトップを初めとして、勧誘の働きかけが必要ではないかと。働きかけによっては、かなり多くの人動くということがある。人が足りないのであれば、周りから誘ってくれないかという方もいると思うので、ぜひそういった声かけをしても良いのではないかと。
- ・どこの市町村にもシルバー人材センターはあり、同じことで困っているところや、逆に仕事がほしいところがあるかもしれないので、うまく連携をとって人の調整が出来れば良いと思う。また、せっかく登録をしたのに全然仕事が回ってこないという人もいるようなので、事業所への働きかけをしっかりとっていくことも大事だと思う。
- ・技能実習は、会員の皆さんの生きがいになり、依頼者のニーズにも応えることになって一石二鳥だと思うので、ご検討いただきたい。